

水稲

次年度の栽培対策について

① 浸種・育苗期間の管理

◎ 浸種水温の確保

- ・ 10～15℃の水温確保。
- ・ 催芽温度は30～32℃で、事前に湯通し(36～40℃)。

◎ 適正な温度管理

- ・ 出芽までの温度は32℃を超えないように。
- ・ 出芽後の再被覆は行わない。

- ・ 育苗期間の高温多湿を控える。

② 穂数の確保

◎ 健苗の育成

- ・ 欠株防止と初期生育確保のために重用。
- ・ 温度管理の徹底により徒長苗防止。

◎ 適正な栽植密度の確保

- ・ 充実した穂の確保のため、栽植密度70株/坪を目標に。

◎ 分げつ確保の水管理

- ・ 活着期～分げつ期は浅水管理。

③ 登熟歩合・品質の向上

◎ 土作りの徹底

- ・ 根を深く張らせる環境作り。

- ・ ケイ酸質資材の供給。

◎ 水管理の徹底

- ・ 出穂以降の高温時には掛け流し。

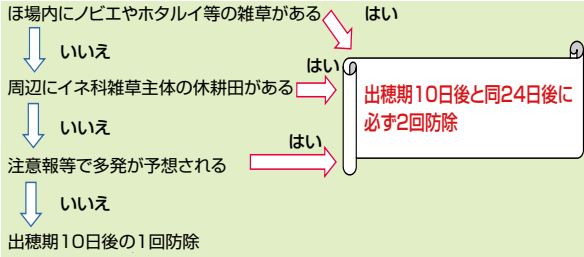
- ・ カドミ対策でも効果有り。
- ・ 早期落水防止。

◎ 適正な肥培管理

- ・ 登熟後半の葉色低下⇨白未熟粒・充実度不足・胴割を助長。

④ 斑点米カメムシ対策

【防除回数の判断】

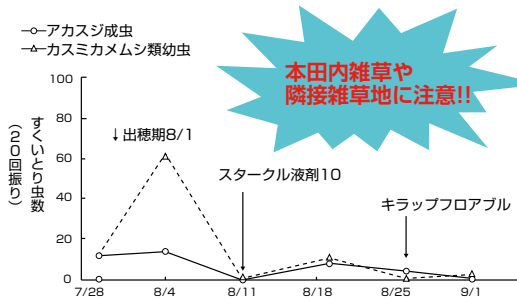


【雑草防除】

田植後 6月上旬	出穂期 10～15日前	1回目防除 出穂期10日後	2回目防除 出穂期24日後	収穫期 2週間前
草刈り		散布後草刈り		草刈り

【薬剤防除】

出穂期10日後(必須)+出穂期24日後
(ほ場条件や発生状況に応じて)



【春作業に向けて】

- 雪害防止にむけた育苗ハウスの点検を!
- ・ ハウスの肩部分まで積雪がある場合は除雪に努め、雪解けによるパイプの破損を防止してください。

さい。

- 近年多発傾向のばか苗病対策
- ・ 自家採種しない。
- ・ 浸種開始を遅らせる(水温10～15℃を確保)。
- ・ 浸種水量は種粃1kgに対し35リットル

- ・ 浸種期間は水温10℃で6日間程度とし、水交換は2～3回。開始2日間は循環せず静置。
- ・ 複数品種や防除方法の異なる種子を同時に浸種催芽しない。使用した容器はその都度良く洗浄。

- ・ 種子予措を行う場所を良く清掃し、伝染源となる稲残渣(わら、粃、ヌカ等)の混入を防ぐため浸種催芽時は容器に蓋をする。
- ・ 消毒後の種子を地ベタ等に置かない。

- 冷害に対する心構えも忘れずに!

疑問・質問等は、お気軽に
営農経済課もしくは、
各営農センターまで

各営農センターまで

営農行事案内

水稻栽培講習会を

3月20日(木)に開催します!



育苗技術や病害虫対策等について説明を行い、高品質・高収量の米生産に向けて、JA稲作部会主催で水稻栽培講習会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。

日時・場所

3月20日(木)10:00～
能代山本広域

交流センター